

2023年7月



株式会社シーユーシー

2024年3月期 第1四半期
決算説明資料

連結業績

連結業績概要

新型コロナウイルス関連の新規サービスの大幅な縮小に伴い、連結業績は減収・減益となったものの、既存サービスの売上収益及びEBITDAは前年同期比で増加

(単位：百万円)

	2023/3 Q1	2024/3 Q1	増減	%
売上収益	10,136	7,663	(2,473)	(24.4%)
- 既存サービス ⁽¹⁾	5,785	7,404	+1,619	+28.0%
- 新規サービス ⁽²⁾	4,350	259	(4,091)	(94.0%)
EBITDA ⁽³⁾	1,686	1,239	(447)	(26.5%)
- 既存サービス ⁽¹⁾⁽⁴⁾	531	1,137	+606	+114.1%
- 新規サービス ⁽²⁾⁽⁴⁾	1,155	103	(1,053)	(91.1%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	913	482	(431)	(47.3%)

1. 当社グループにおける新規サービス以外のサービス（以降同様）。
2. 新型コロナウイルスワクチン接種支援サービス、在宅治験及び健康観察支援サービスの総称（以降同様）。
3. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± その他の収益・費用の合計（以降同様）。
4. 既存サービスのEBITDA及び新規サービスのEBITDAは管理会計に基づく（以降同様）。

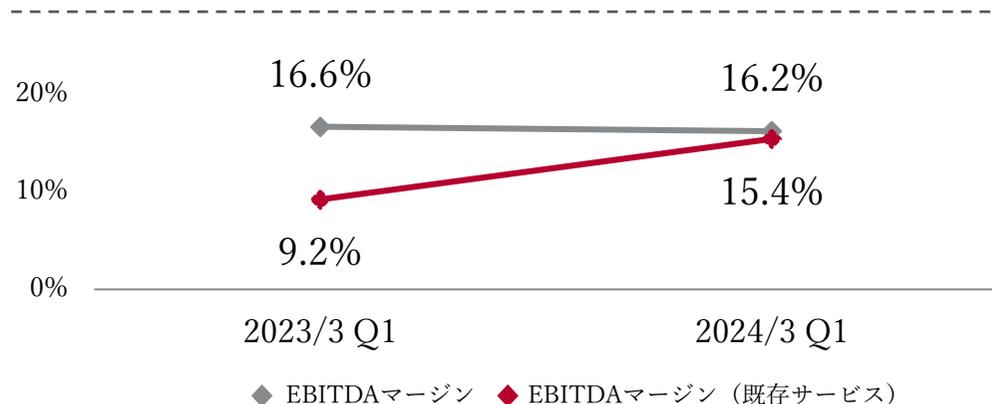
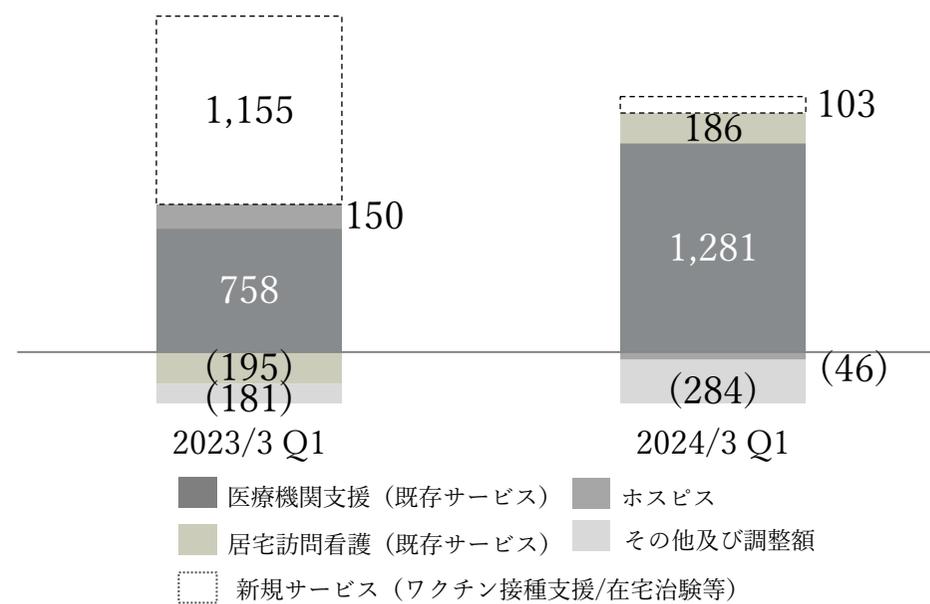
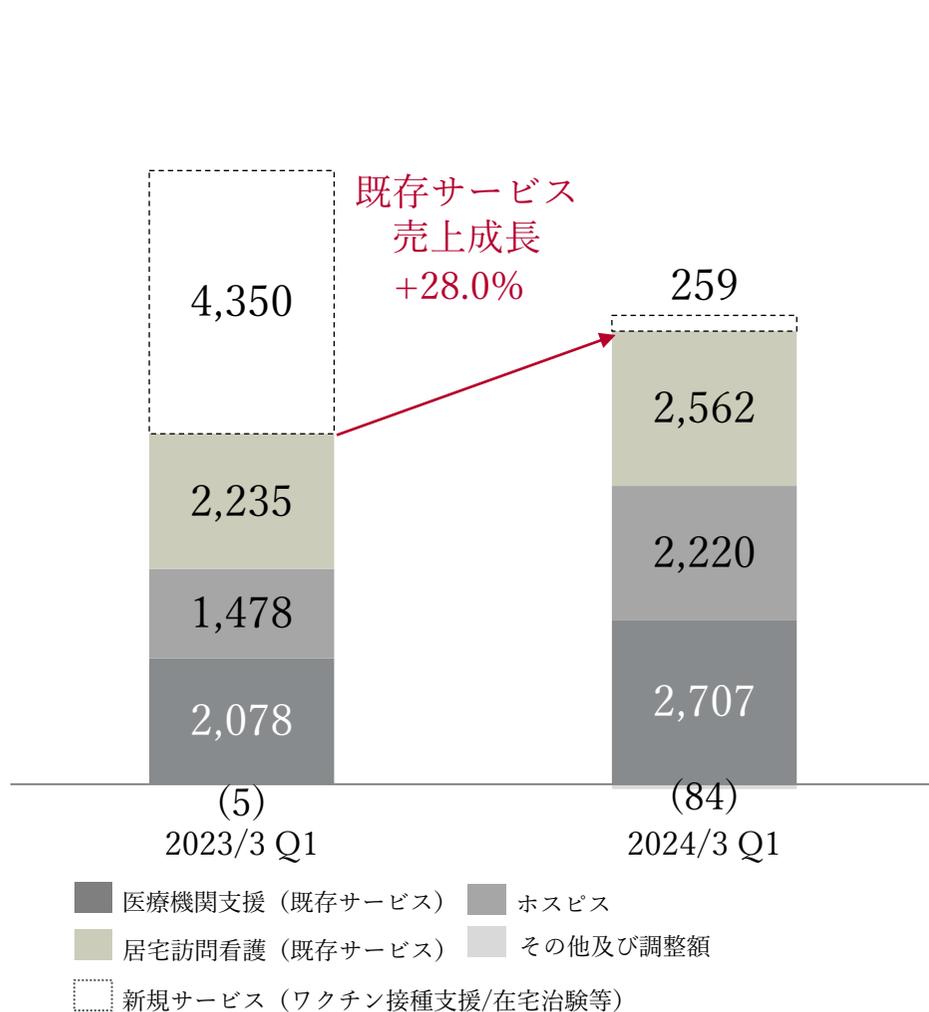
連結業績概要（前年同期比）

既存サービスの売上収益は28.0%の成長率を達成し、既存サービスのEBITDA及びEBITDAマージンも大幅に上昇

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



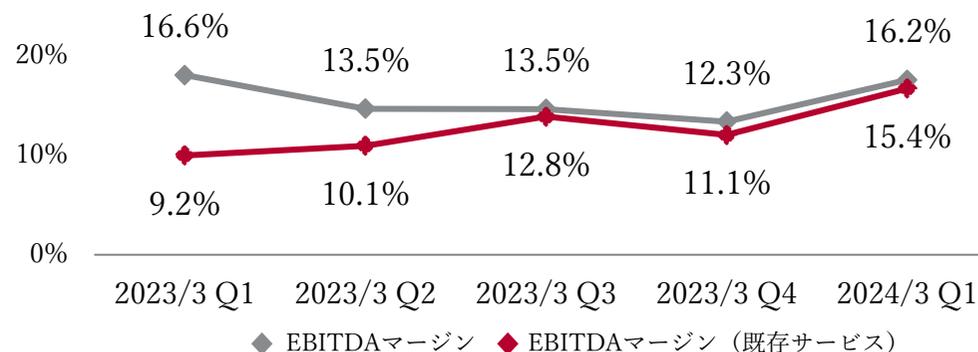
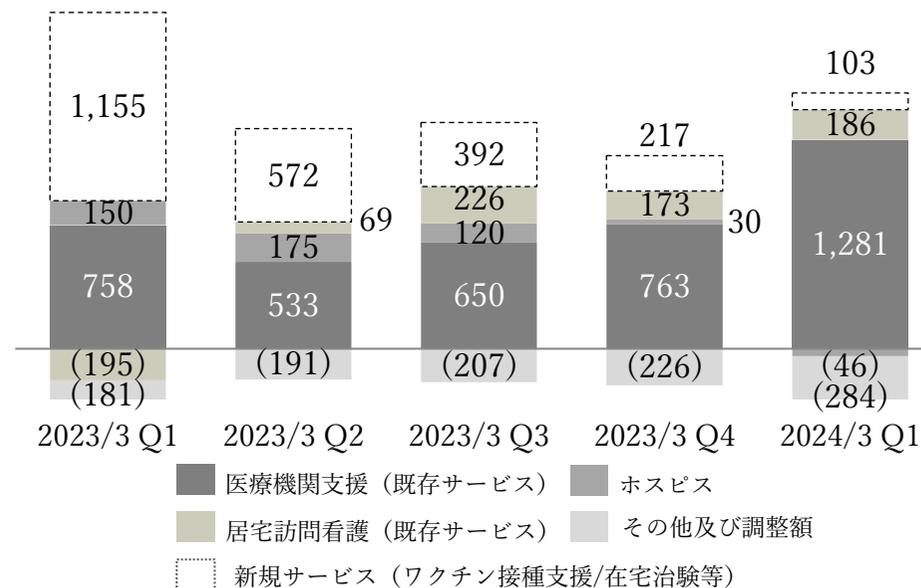
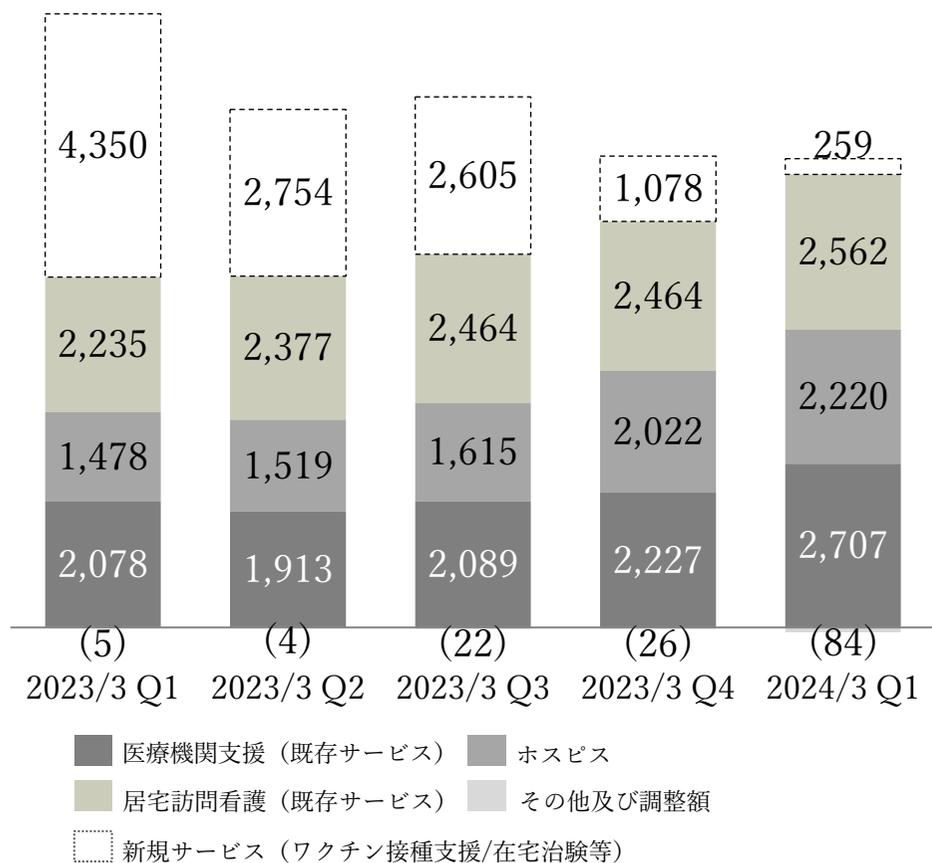
連結業績概要（四半期推移）

2023/3 Q4と比較し、既存サービスの売上収益は増加。また、EBITDA及びEBITDAマージンも大幅に上昇

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



連結財政状態計算書の概要

(単位：百万円)	2022/3	2023/3	2023/6
1 流動資産	15,153	12,732	27,293
現金及び現金同等物	4,355	4,120	18,791
営業債権及びその他の債権	10,515	8,240	8,036
非流動資産	19,373	27,018	28,957
有形固定資産	3,044	7,350	8,266
使用权資産	3,637	4,712	5,716
のれん	4,403	4,723	4,809
無形資産	2,666	2,775	2,746
総資産	34,526	39,750	56,250

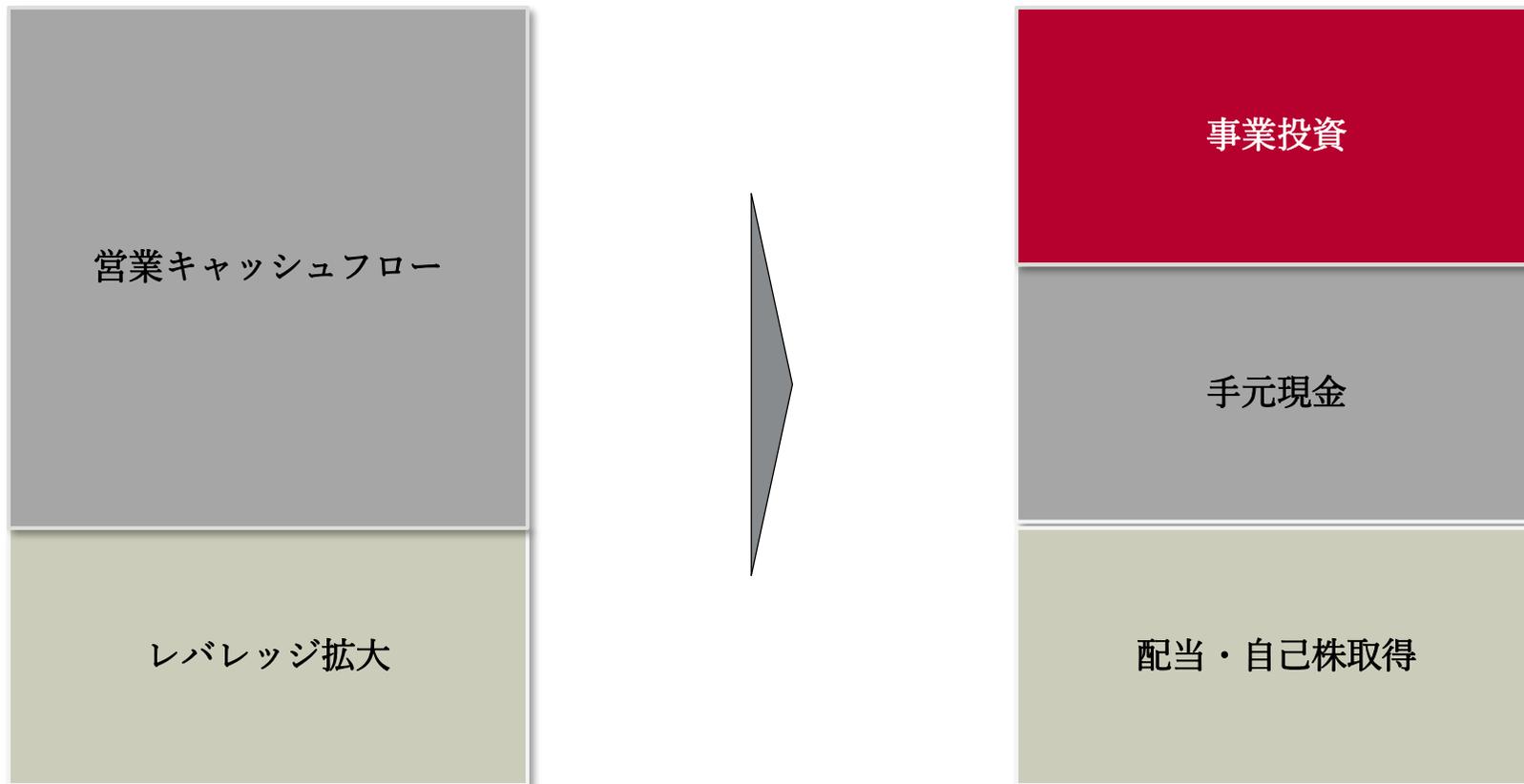
1 東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により増加

2 金融機関から長期借入を行い、親会社からの短期借入金を全額返済

	2022/3	2023/3	2023/6
流動負債	19,338	21,290	6,896
営業債務及びその他の債務	3,946	2,155	1,698
2 借入金	10,684	16,040	2,000
リース負債	690	889	981
非流動負債	5,509	6,540	25,431
2 借入金	-	-	17,922
リース負債	3,527	4,523	5,425
負債合計	24,847	27,830	32,327
資本合計	9,679	11,920	23,923
1 資本金	1,049	1,063	6,808
資本剰余金	1,025	1,258	6,906
利益剰余金	5,290	7,715	8,196
その他の資本の構成要素	2,094	1,669	1,757
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,457	11,704	23,666
非支配持分	222	216	257
負債及び資本合計	34,526	39,750	56,250

財務方針の考え方

当社は現在、事業投資が必要なフェーズであるため、現時点では配当や自己株取得は行わず、主にホスピス建設資金やM&A等の事業投資に資金を充当する方針。レバレッジはEBITDA有利子負債倍率や親会社所有者帰属持分比率等を勘案して活用予定

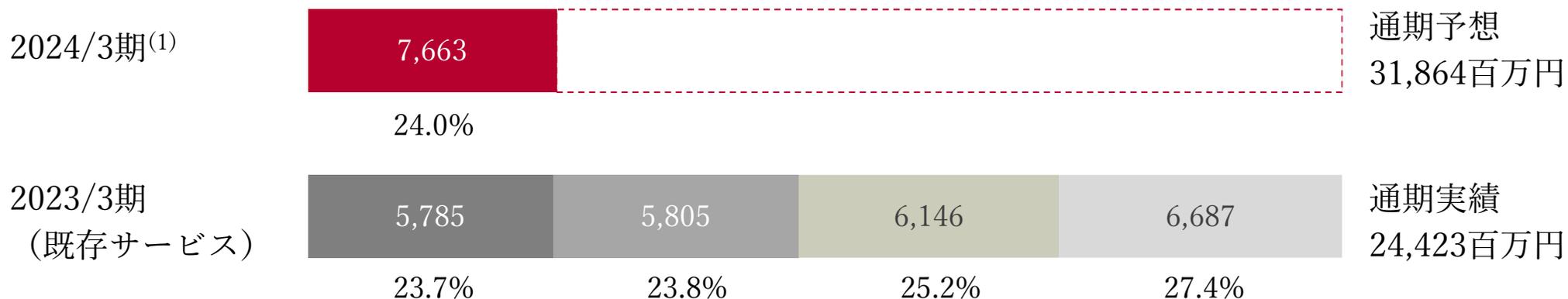


通期業績予想に対する進捗

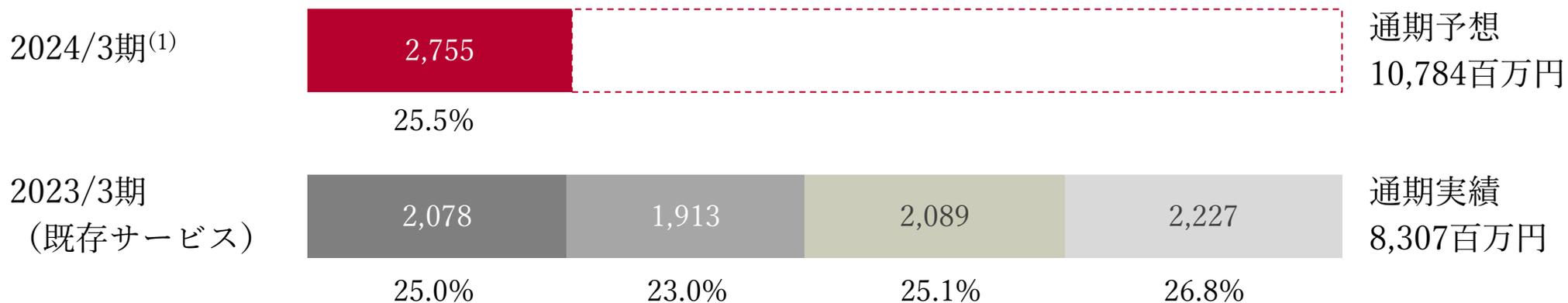
売上収益の通期予想に対する進捗率 (1/2)

連結及び医療機関セグメントの売上収益は前年を上回る進捗で推移

連結



医療機関支援セグメント

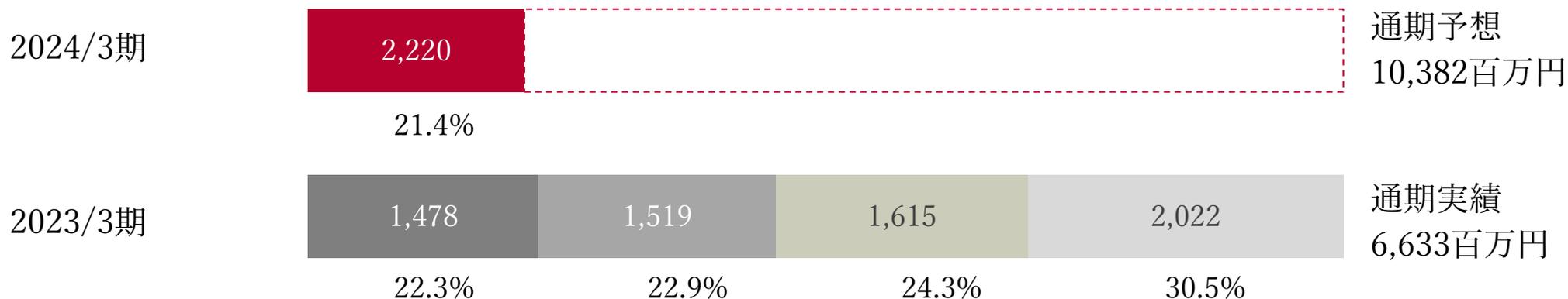


1. 新規サービスの売上収益を含むが、影響は限定的。

売上収益の通期予想に対する進捗率 (2/2)

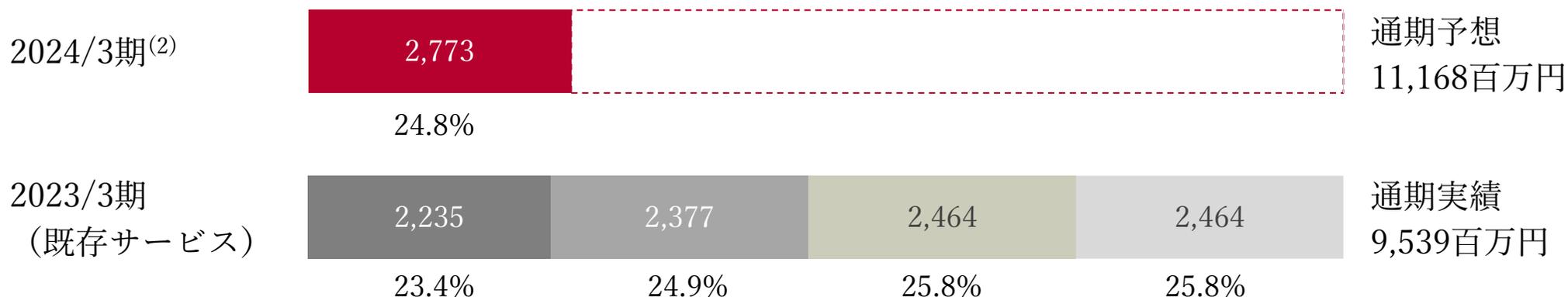
居宅訪問看護セグメントは前年の進捗を上回る一方、ホスピスセグメントは期中に新規施設を開設していくため、四半期が進むにつれ売上収益が増加する想定

ホスピスセグメント



2023年1月のネイチャーグループ⁽¹⁾の子会社化で上昇

居宅訪問看護セグメント



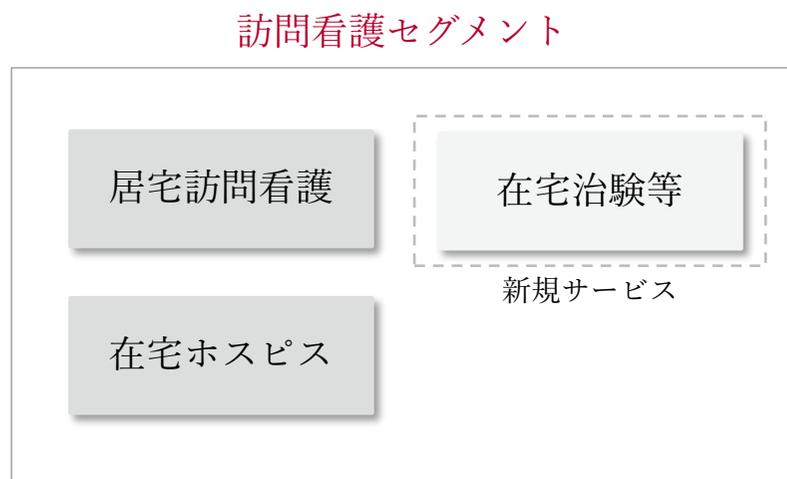
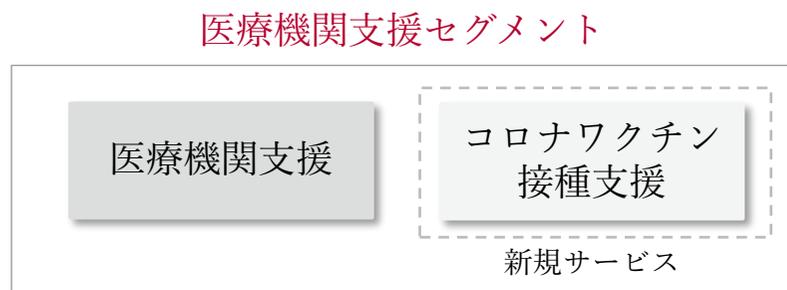
1. 株式会社ネイチャー、株式会社A&N及び株式会社ゆうの総称（以降同様）。
2. 新規サービスの売上収益を含むが、影響は限定的。

セグメント別業績

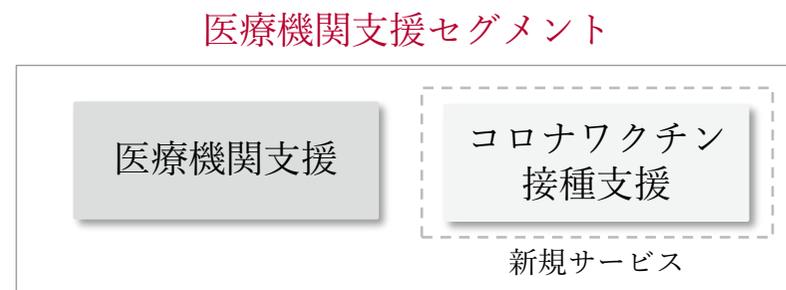
セグメント変更について

2024年3月期第1四半期より、報告セグメントを以下のとおり変更

変更前



変更後



セグメント別業績概要 (1/2)

医療機関支援及び居宅訪問看護セグメントの既存サービス並びにホスピスセグメントの売上収益は前年同期比で増加

(単位：百万円)

	2023/3 Q1	2024/3 Q1	増減	%
売上収益	10,136	7,663	(2,473)	(24.4%)
医療機関支援セグメント	5,281	2,755	(2,526)	(47.8%)
- 既存サービス	2,078	2,707	+630	+30.3%
- 新規サービス	3,204	48	(3,156)	(98.5%)
ホスピスセグメント	1,478	2,220	+741	+50.2%
居宅訪問看護セグメント	3,381	2,773	(608)	(18.0%)
- 既存サービス	2,235	2,562	+327	+14.6%
- 新規サービス	1,147	211	(935)	(81.6%)
その他及び調整額	(5)	(84)	(79)	-

セグメント別業績概要 (2/2)

ホスピスセグメントは減益となったものの、医療機関支援及び居宅訪問看護セグメントの既存サービスは増益

(単位：百万円)

	2023/3 Q1	2024/3 Q1	増減	%
EBITDA	1,686	1,239	(447)	(26.5%)
医療機関支援セグメント	1,102	1,276	+174	+15.8%
- 既存サービス	758	1,281	+523	+69.1%
- 新規サービス	345	(5)	(350)	-
ホスピスセグメント	150	(46)	(195)	-
居宅訪問看護セグメント	615	293	(322)	(52.3%)
- 既存サービス	(195)	186	+381	-
- 新規サービス	810	107	(703)	(86.8%)
その他及び調整額	(181)	(284)	(103)	-

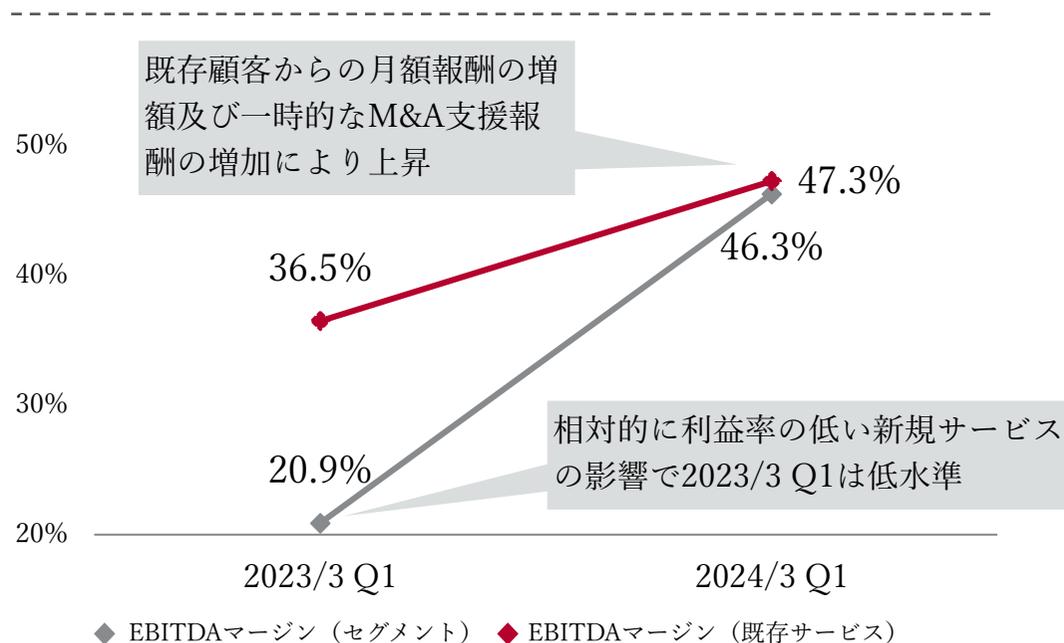
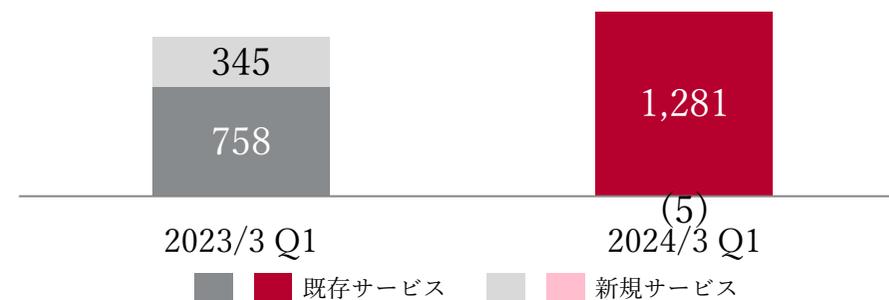
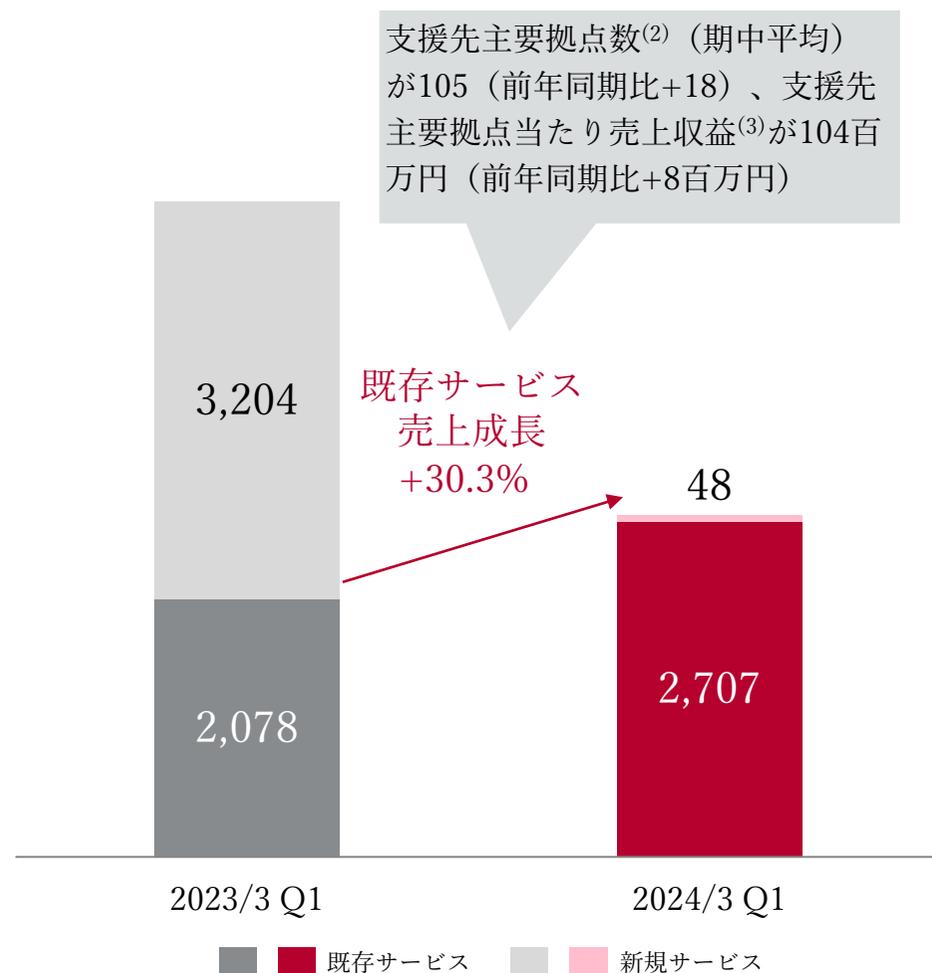
医療機関支援セグメント業績概要（前年同期比）

既存サービスの売上収益は30.3%の成長率を達成。また、既存顧客からの月額報酬の増額及び一時的なM&A支援報酬⁽¹⁾の増加により、EBITDAマージンは47.3%まで上昇

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



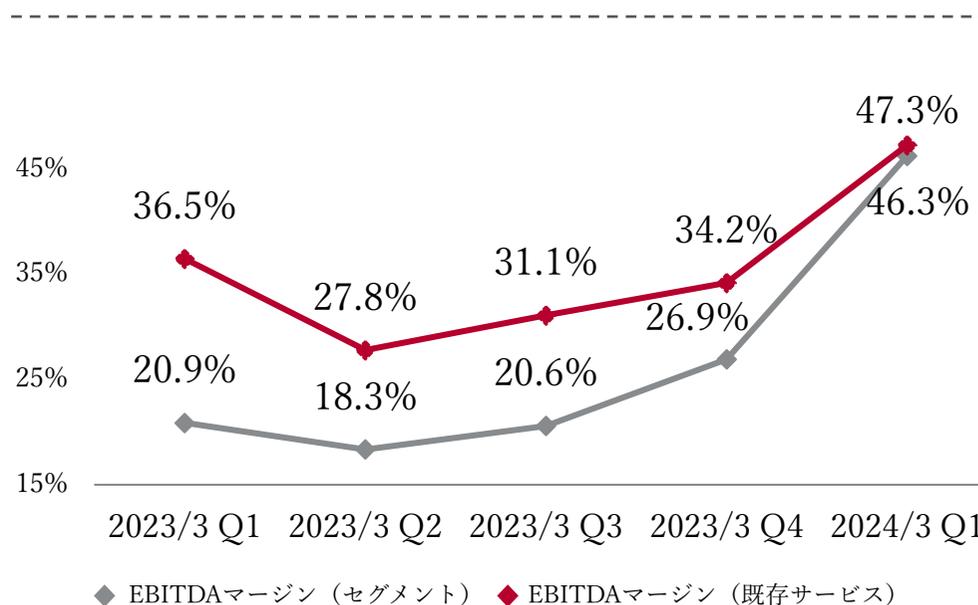
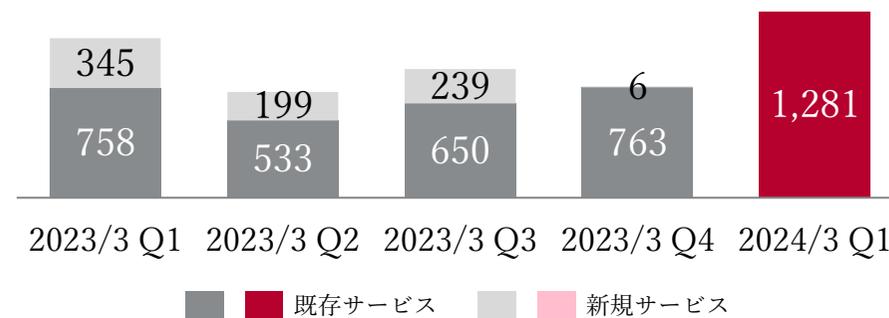
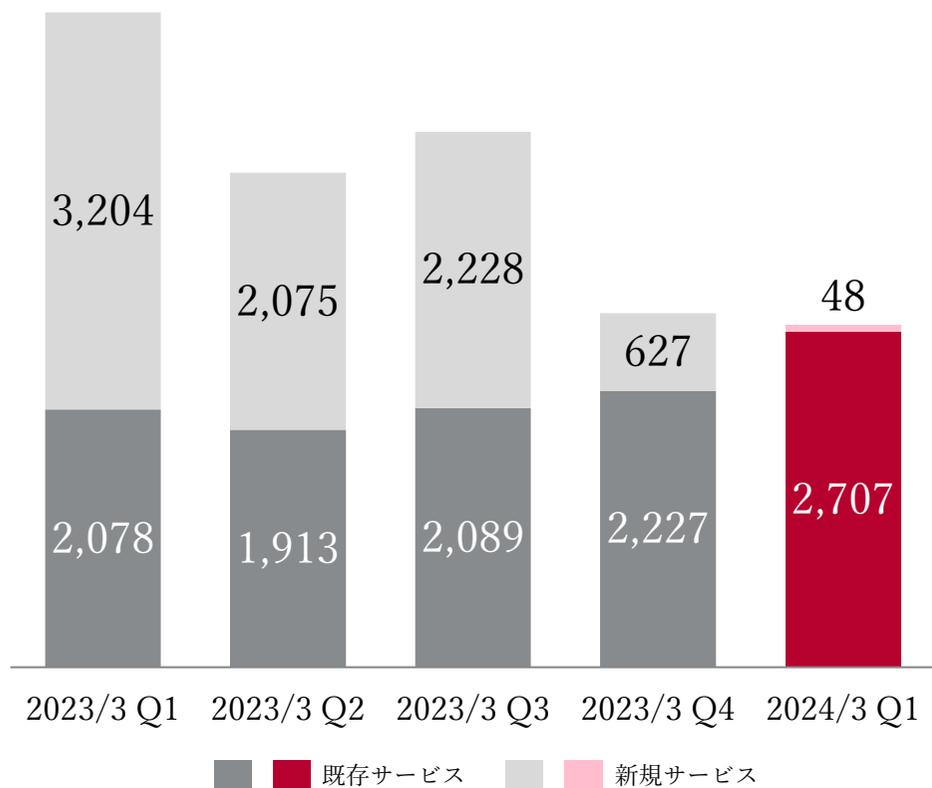
医療機関支援セグメント業績概要（四半期推移）

支援先主要拠点数の増加、既存顧客からの月額報酬の増額及び一時的なM&A支援報酬の増加等により、既存サービスの売上収益及びEBITDAは、2023/3期Q4対比で増加

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)

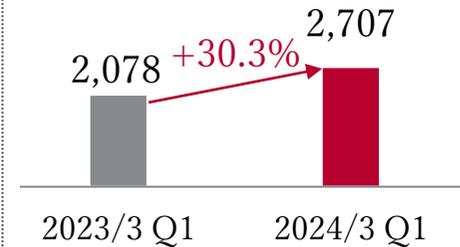
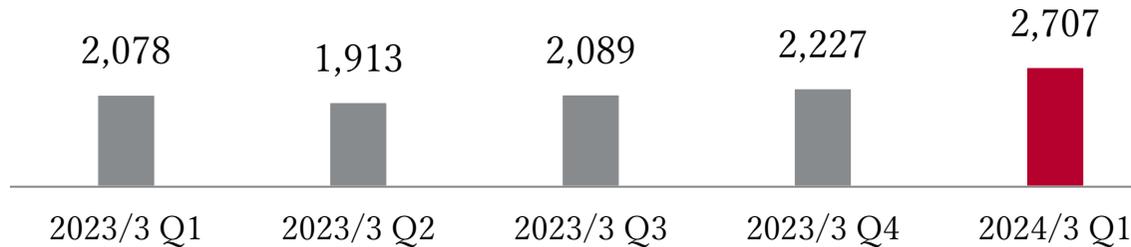


医療機関支援セグメントの重要経営指標

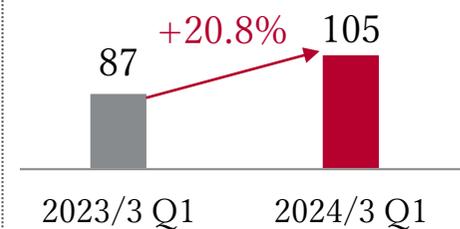
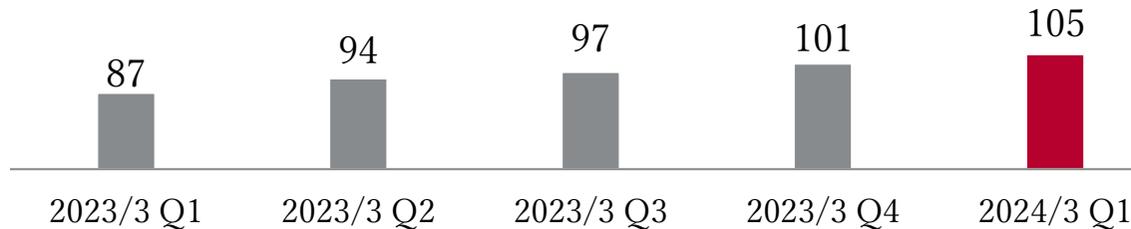
四半期推移

前年同期比

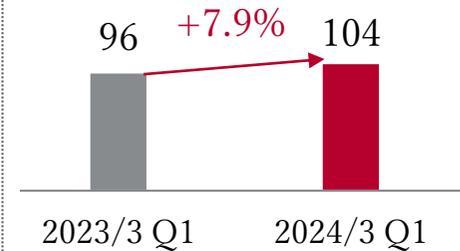
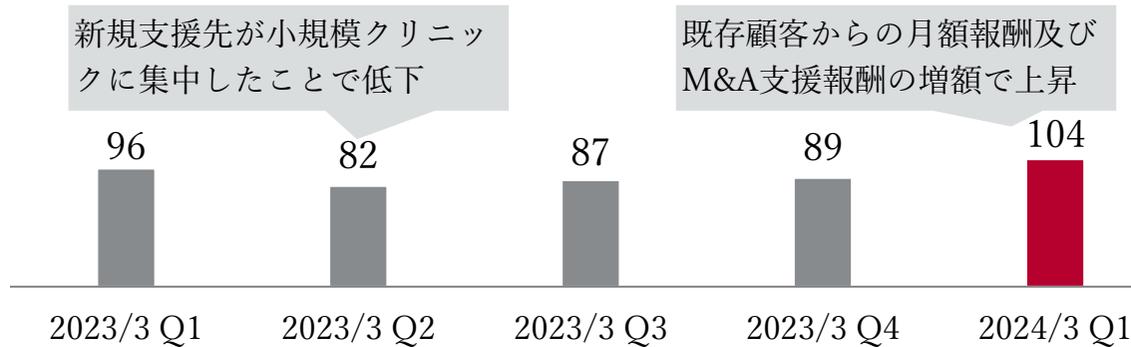
既存サービス
売上収益
(百万円)



支援先
主要拠点数⁽¹⁾
(期中平均)



支援先主要
拠点当たり
売上収益⁽²⁾
(百万円)



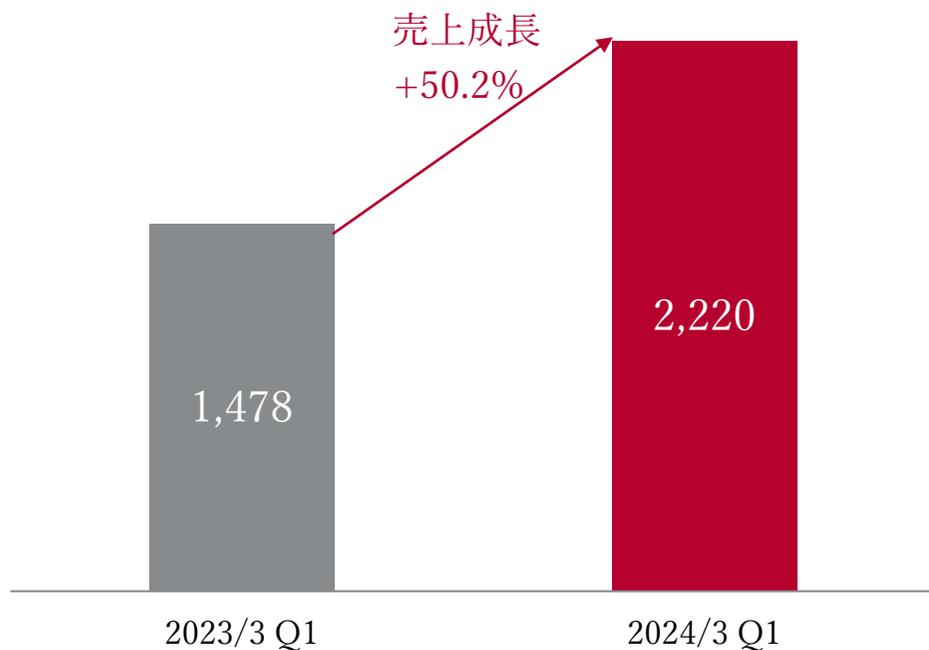
1. 当社が経営支援を提供する、病院、介護老人保健施設、訪問診療クリニック、透析クリニック、外来クリニックの合計数。
2. 既存サービスの四半期セグメント売上収益を4倍して売上収益を年額換算し、四半期中の平均支援先主要拠点数で除して算出。

ホスピスセグメント業績概要（前年同期比）

前期におけるネイチャーグループの子会社化及び新規施設の開設等により50.2%の成長率を達成した一方、本社機能の強化や稼働率向上を意図した人員増加によりEBITDAマージンは低下

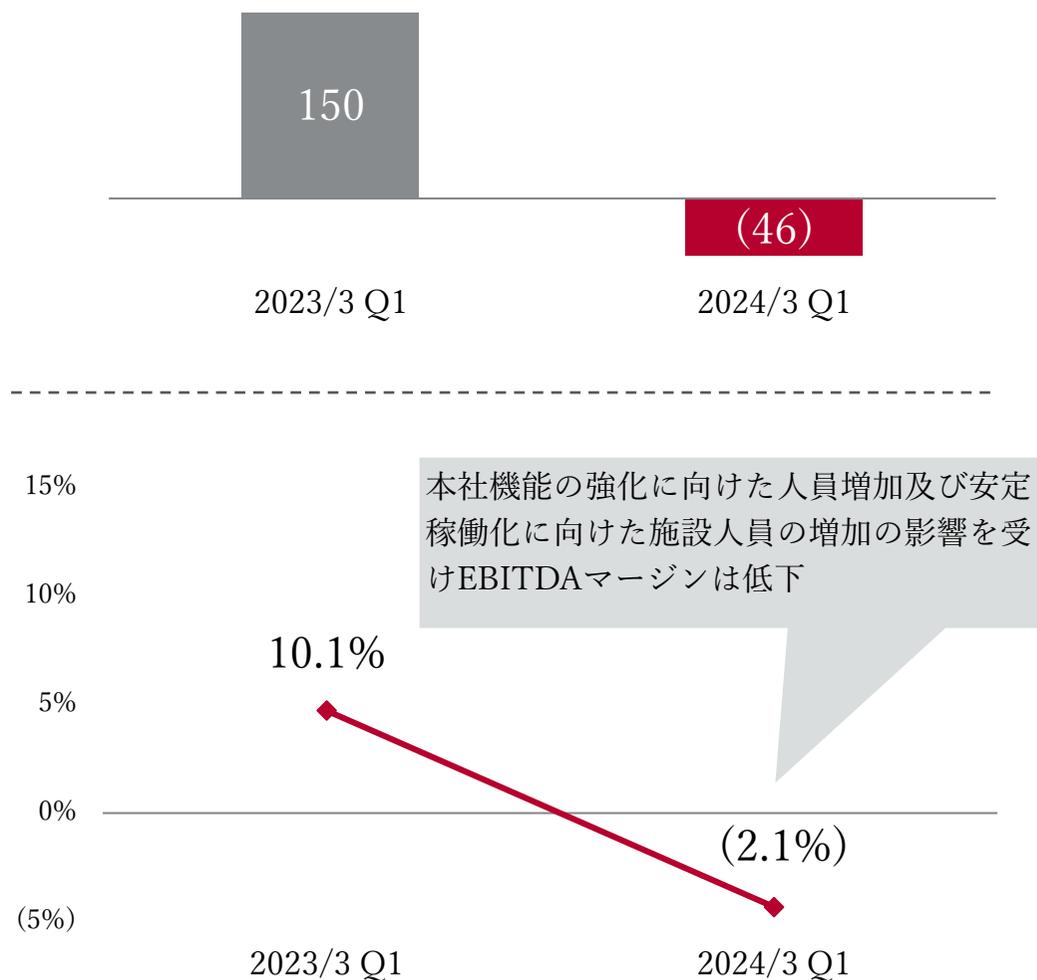
売上収益

2023年1月におけるネイチャーグループの子会社化により施設数が5箇所増加。また、2023/3期の後半における4箇所の開設及びその後の稼働率上昇が貢献



EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



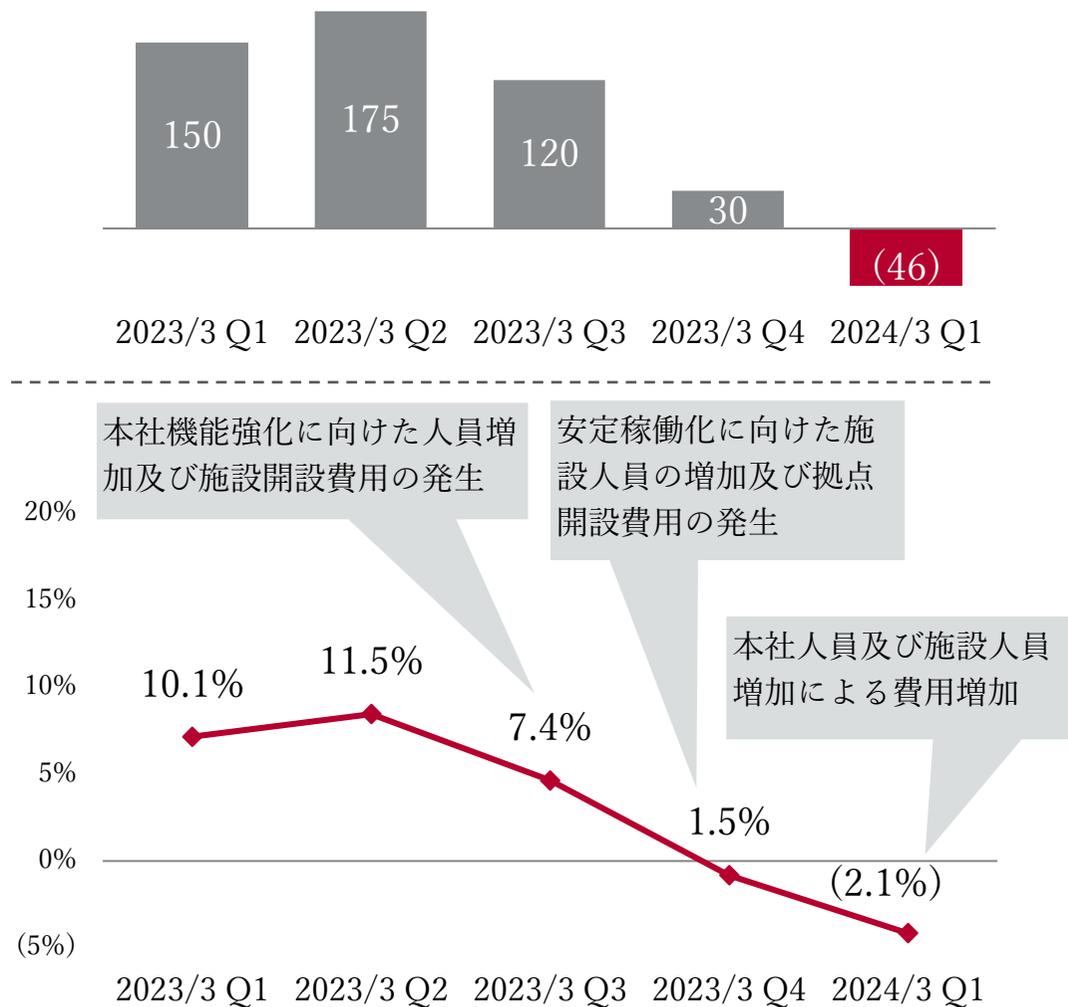
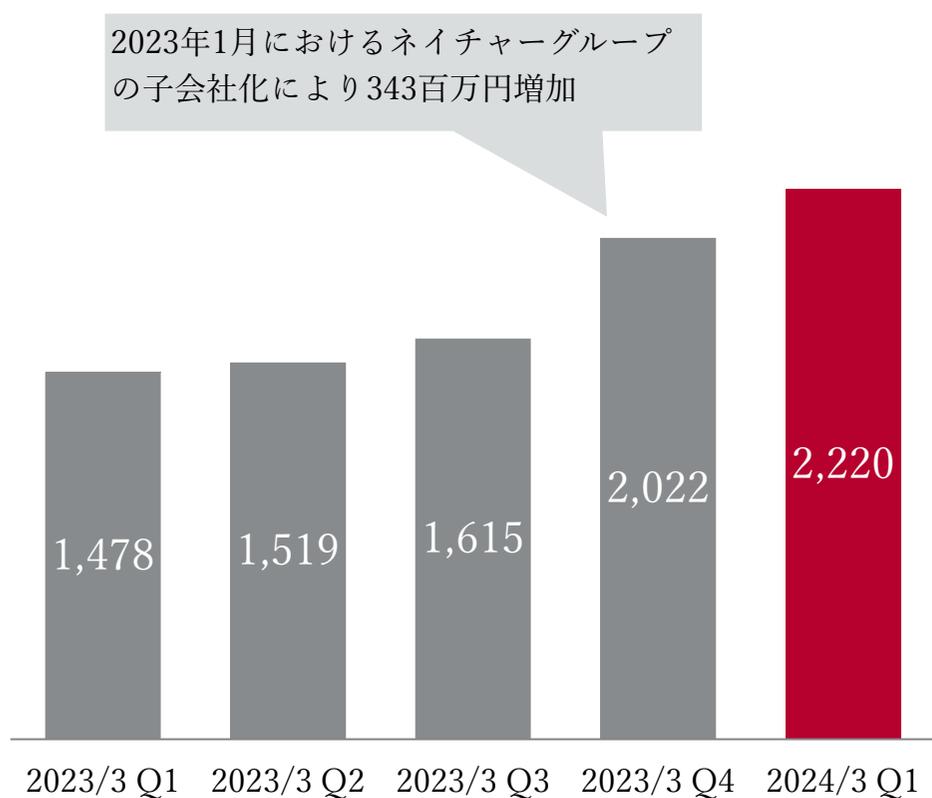
ホスピスセグメント業績概要（四半期推移）

施設数の増加等により売上収益は四半期ごとに成長。2023/3 Q3以降は本社機能の強化や稼働率向上を意図した人員増加の影響を受けEBITDAマージンが低下

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

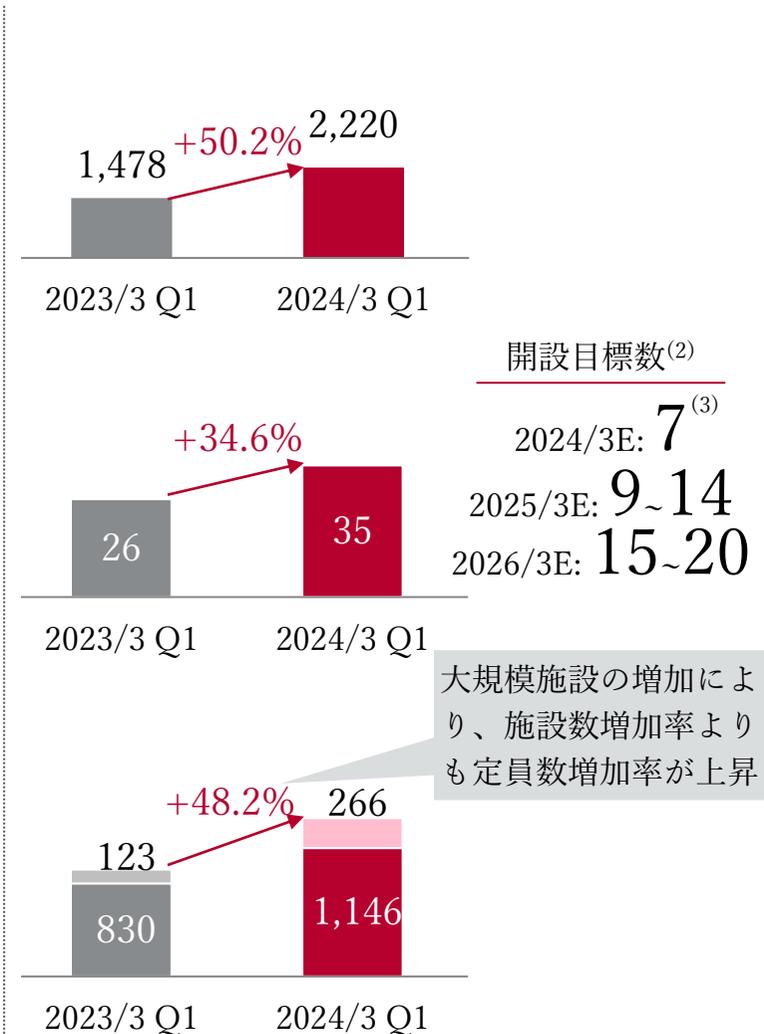
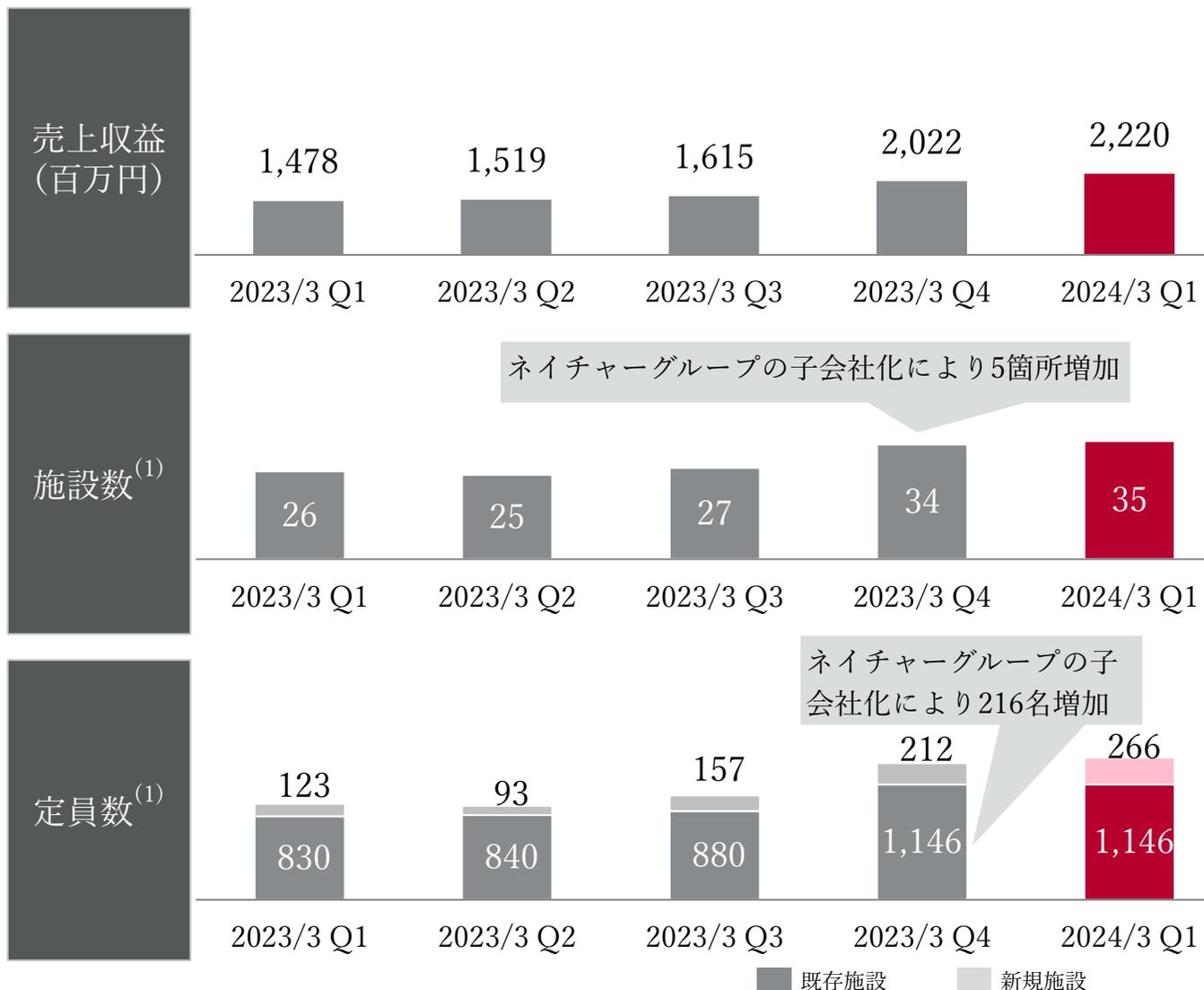
(単位:百万円)



ホスピスセグメントの重要経営指標 (1/2)

四半期推移

前年同期比



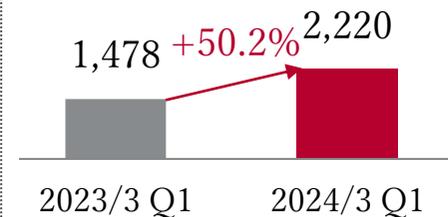
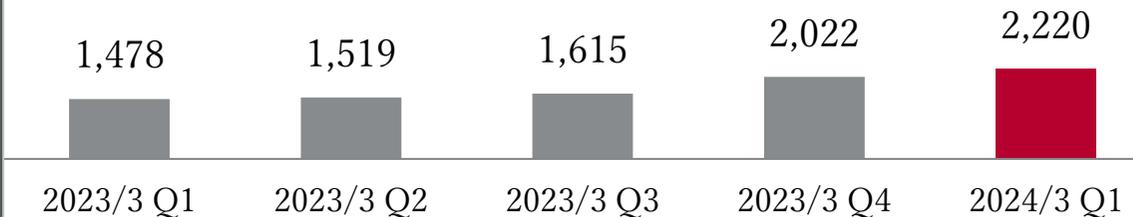
1. 各四半期末時点における当社グループがサービスを提供しているホスピス施設の施設数及び定員数。各四半期末時点において開設後12か月超経過又は M&A により取得した施設を既存施設、それ以外を新規施設とする。
 2. マクロ環境や規制動向など、本書日時点において入手可能な情報に基づき、一定の仮定や前提の下で当社グループが設定した目標値であり、将来の目標数値の実現を保証するものではない。
 3. 2024/3Eについては、開設に向けた具体的なプロセスが進行中で、開設が確定している施設のみを集計しているが、将来の目標数値の実現を保証するものではない。

ホスピスセグメントの重要経営指標 (2/2)

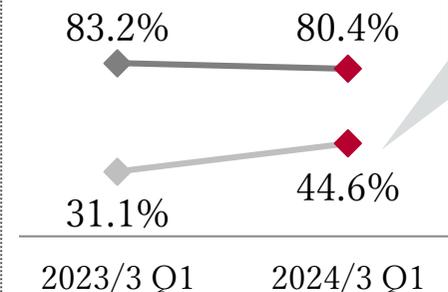
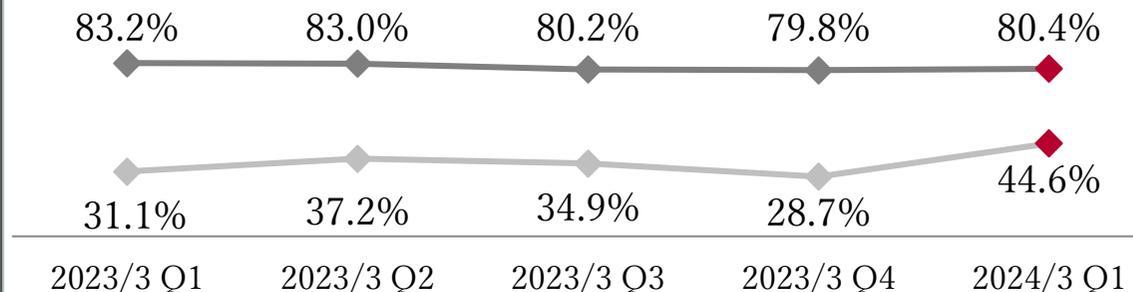
四半期推移

前年同期比

売上収益
(百万円)



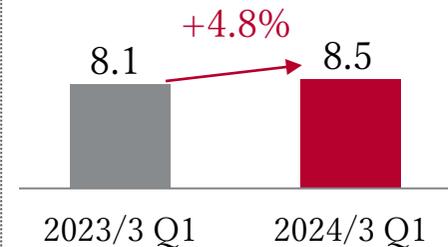
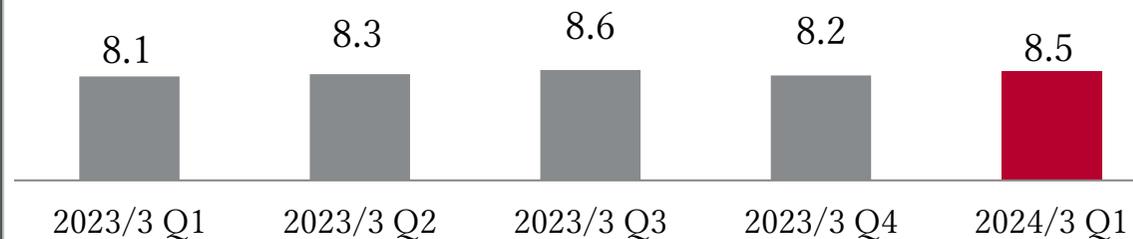
稼働率⁽¹⁾



2023/3期の後半に開設した施設の稼働率が上昇

◆ 既存施設 ◆ 新規施設

入居者当たり単価⁽²⁾
(百万円)



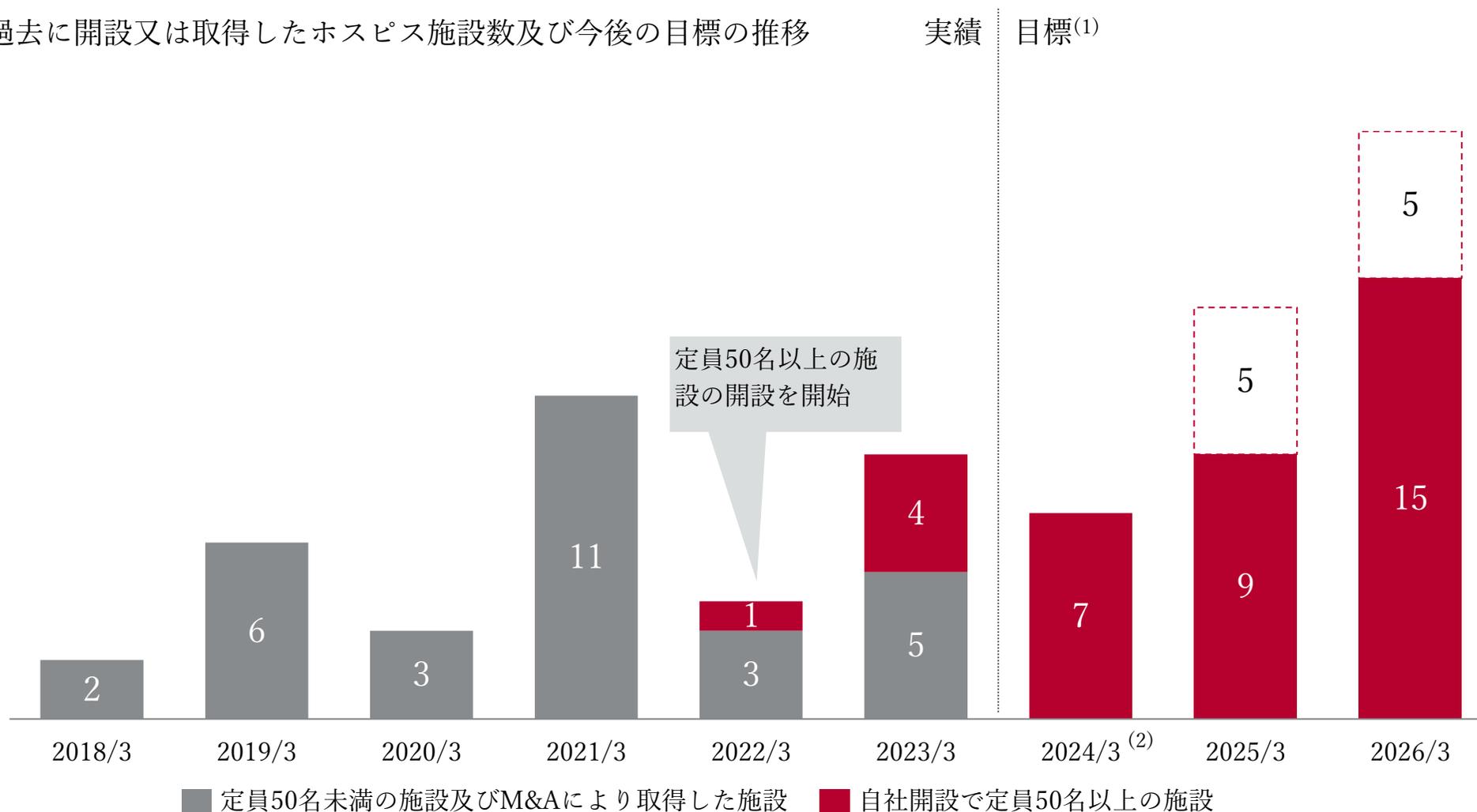
1. 各四半期会計期間におけるのべ提供可能定員数に対する、のべ入居者数の割合。各四半期末時点において開設後12か月超経過又はM&Aにより取得した施設を既存施設、それ以外を新規施設とする。
2. 各四半期会計期間のホスピスセグメントの売上収益を4倍し、期中平均入居者数で除した金額。

今後開設予定のホスピス施設数と規模

当社グループが過去に開設した中小規模施設よりも高い利益率が見込まれる定員50名以上の大規模施設の開設を2022年3月より開始し、今後さらに拡大する予定

過去に開設又は取得したホスピス施設数及び今後の目標の推移

実績 目標⁽¹⁾



1.マクロ環境や規制動向など、本書日時点において入手可能な情報に基づき、一定の仮定や前提の下で当社グループが設定した目標値であり、将来の目標数値の実現を保証するものではない。
2. 2024/3Eについては、開設に向けた具体的なプロセスが進行中で、開設が確定している施設のみを集計しているが、将来の目標数値の実現を保証するものではない。

2023年7月以降に新規開設予定のホスピス施設

新規開設予定施設⁽¹⁾ (2023年6月30日時点)

所在地	定員数	工事着手	開設時期 (予定)	
埼玉県さいたま市	51	2022/12	2023/3 Q2	2023/7
奈良県奈良市	54	2023/2		2023/9
愛知県岡崎市	54	2023/4	2023/3 Q3	2023/11
宮城県仙台市	54	2023/5		2023/12
兵庫県神戸市	54	2023/5		2023/12
北海道札幌市	54	2023/6	2023/3 Q4	2024/2
東京都町田市	53	2023/9	2024/3 Q1	2024/4
福岡県福岡市	54	2023/9		2024/5
京都府京都市南区	54	2023/9		2024/6
京都府京都市右京区	54	2024/2	2024/3 Q3	2024/12

2023/7/3に開設済み

1. 現時点での予定であり、様々な事情により、工事の着手・完了時期、定員数及び投資金額は今後変更となる可能性あり。

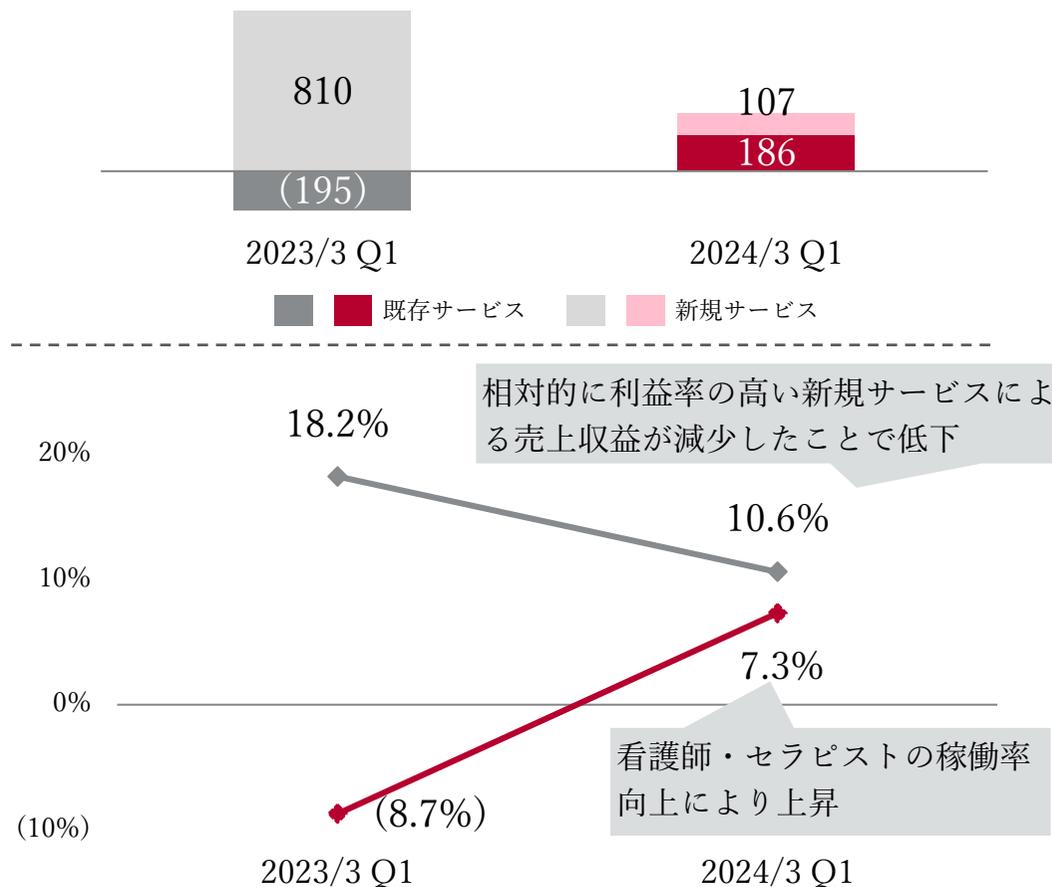
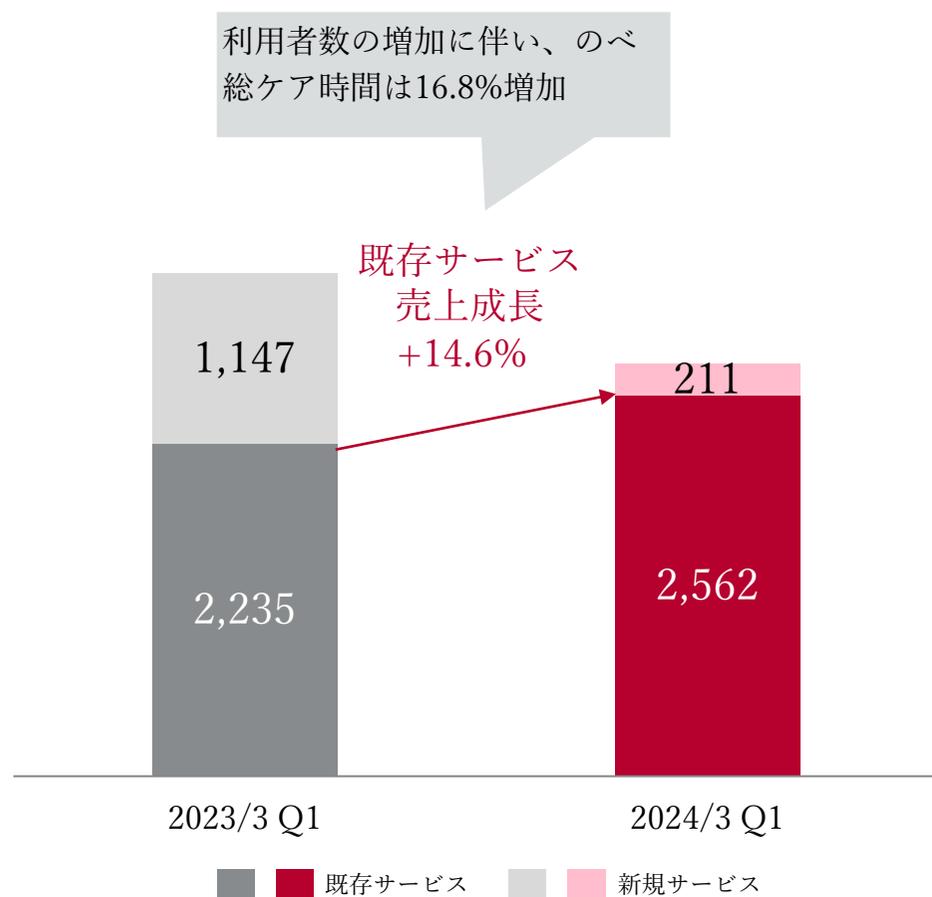
居宅訪問看護セグメント業績概要（前年同期比）

のべ総ケア時間⁽¹⁾の増加により既存サービスの売上収益は14.6%の成長率を達成し、看護師・セラピストの稼働率向上により既存サービスのEBITDAマージンは大幅に改善

売上収益

EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



1. 看護師及びセラピストが利用者にサービスを提供した時間の合計。

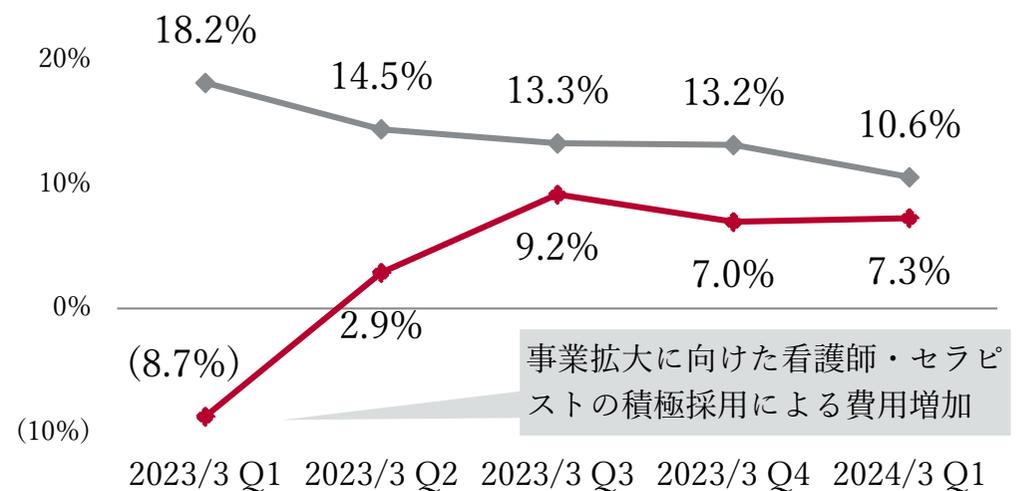
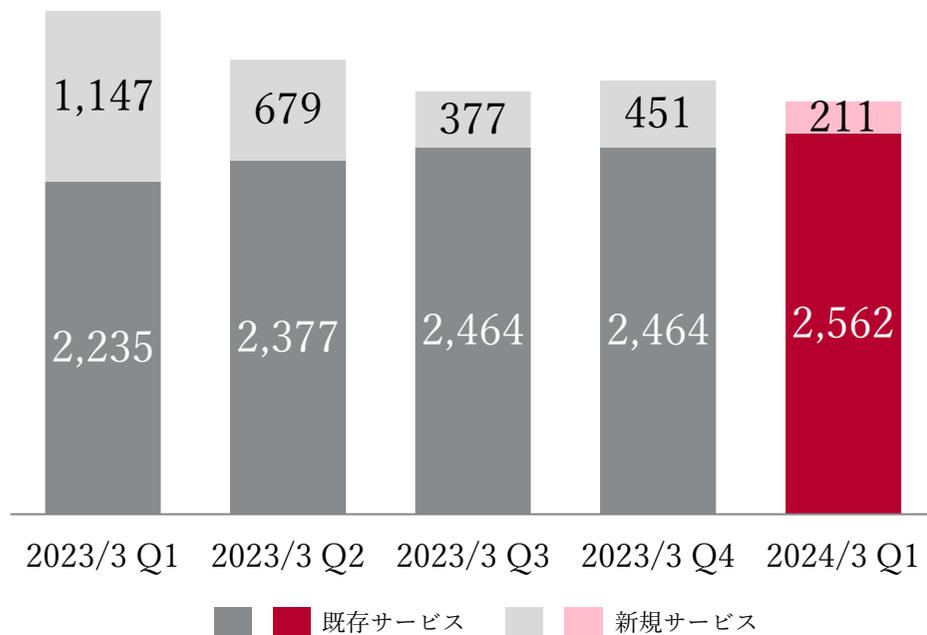
居宅訪問看護セグメント業績概要（四半期推移）

既存サービスによる売上収益は四半期ごとに増加。看護師・セラピストの稼働率向上に伴い、医療職の採用が集中するQ1にもかかわらず、EBITDAマージンは改善傾向

売上収益

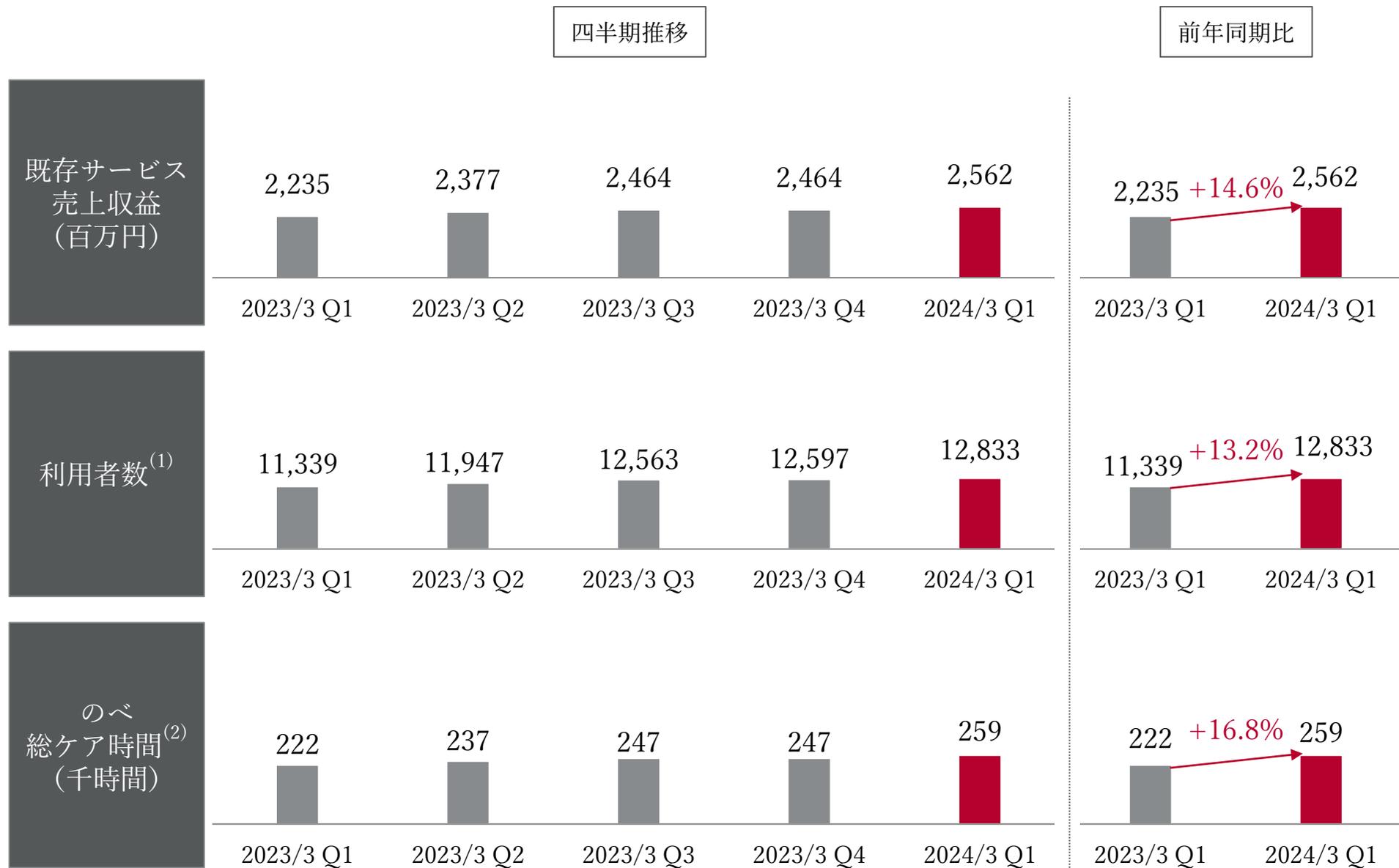
(単位:百万円) | EBITDA及びEBITDAマージン

(単位:百万円)



◆ EBITDAマージン（セグメント） ◆ EBITDAマージン（既存サービス）

居宅訪問看護セグメントの重要経営指標



1. 四半期の各月末時点で訪問実績がある利用者の平均値。
 2. 看護師及びセラピストが利用者にサービスを提供した時間の合計。

当第1四半期のトピック

海外子会社の設立

2023年3月にインドネシアで設立した合弁会社（PT CUC Cipta Husada）が5月より事業開始。また、米国における事業展開のために7月にCUC America Inc.を設立

東南アジア



- 人工透析施設の支援先をインドネシア全土に拡大するため、PT Masa Cipta Husada（人工透析施設の運営管理会社）との合弁会社（PT CUC Cipta Husada）を2023年3月に設立し、5月より事業開始
- 当社グループの持分は67%

北米



- 2023年7月、米国における市場調査や事業開発を行うことを目的としてCUC America Inc.を設立
- 発行済株式の全てを当社が保有し、出資金額は10万ドル

ReHOPE 郡山の開設

2023年6月1日、福島県郡山市にホスピス型住宅「ReHOPE 郡山」を開設

概要



名称	ReHOPE 郡山
所在地	福島県郡山市
種別	住宅型有料老人ホーム
定員	54名

郡山への開設理由

- 医療・介護のニーズに対し、療養病床の数が不足⁽¹⁾
 - 郡山市では、2020年時点では65歳以上の高齢者が約13万人である一方、2035年には約17万人になると見込まれる。それに伴い、医療介護需要予測指数⁽²⁾は、介護が2035年には150（全国平均120）、医療が109（全国平均103）となる見込みであり、特に介護のニーズにおいては、ピーク時で全国平均と1.5倍の開きが出ることが予測される
 - 上記にもかかわらず、郡山市の療養病床数は全国平均に比べて低い水準であり、人口10万人当たりの病床数が全国平均の226床に対し、郡山市は149床に留まる
- 一人暮らしの高齢者の数が増加傾向⁽³⁾
 - 郡山市における一人暮らしの65歳以上の数は、2020年には1万3,682人であり、2010年時点での8,847人から10年間で約1.5倍に増加。

1. 地域医療情報システム（日本医師会）。

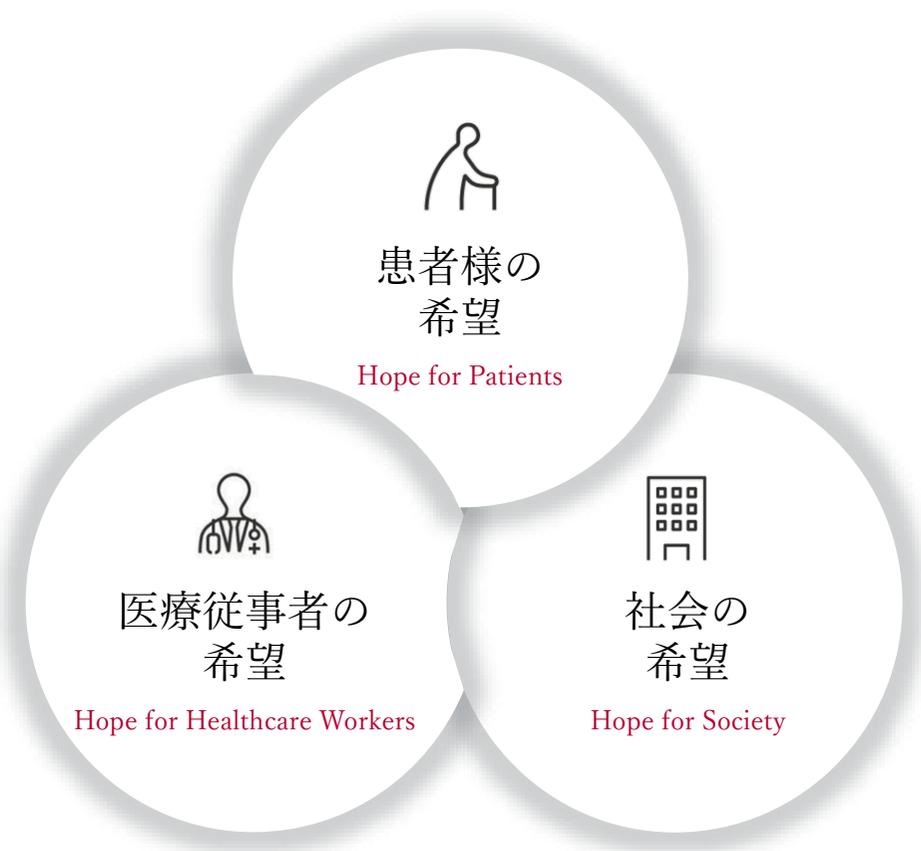
2. 各年の医療や介護の需要量を計算し、2020年の国勢調査に基づく需要量=100として指数化したもの。

3. 「郡山市における65歳以上の一人暮らし高齢者の動向」（郡山市 健康長寿課 作成）。

Appendix

Mission (私たちの使命)

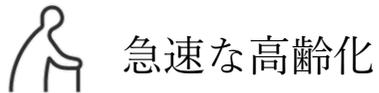
医療という希望を創る。



日本の医療システムが抱える主要課題

医療システムが抱える主要課題の抜本的な解決を目指す

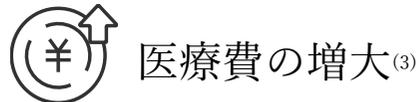
社会問題



65歳以上の
占める割合⁽¹⁾ **29% → 35%**
(2021実績→2040予想)

看取り難民数⁽²⁾
(2030年予想) **約49万人**

- 医療機関の機能転換の必要性
- 終末期ケアの供給不足



44兆円 → 78兆円
(2019実績→2040予想)

- 在宅医療拡大の必要性



67.2百万人 → 58.5百万人
(2017実績→2040予想)

- 医療従事者の採用力強化
- 医療機関の離職率低下



後継者不在の病院
(2017実績)⁽⁵⁾ **68.4%**

経営者が60歳以上の病院
(2020実績)⁽⁶⁾ **68.5%**

- M&A及びその後の統合プロセスによる事業継続性の確保

[医療機関支援セグメント]

CUC

支援先医療機関に対し、運営支援から売上成長支援まで、様々なソリューションをワンストップで提供

[ホスピスセグメント]

CUC HOSPICE

子会社シーユーシー・ホスピス等によるホスピス施設の運営

[居宅訪問看護セグメント]

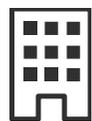
 **Sophiamedi**

子会社ソフィアメディを通じた居宅訪問看護サービスの提供

1. 「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)。2. 「わが国の医療についての基本資料」(厚生労働省、2011年)。
3. 「国民医療費の概況」(厚生労働省)、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」(内閣府、財務省、厚生労働省)。4. 「令和3年版厚生労働白書 資料編」(厚生労働省)。
5. 「医業承継の現状と課題」(日本医師会総合政策研究機構)。6. 「令和2年医師、歯科医師、薬剤師統計の概況」(厚生労働省)。

CUC - At a Glance

会社概要



設立

2014年



約3,100人

従業員数⁽¹⁾ 看護師⁽²⁾ 約1,000人
 介護士／セラピスト⁽²⁾ 約900人

M3, Inc. 63.5%

濱口 代表取締役 (創業者) 6.2%

DBJ 3.0%

その他 27.3%



株主⁽³⁾

セグメント構成

医療機関支援セグメント

医療機関支援

新規サービス

新型コロナワクチン
接種支援

ホスピスセグメント

ホスピス

居宅訪問看護セグメント

居宅訪問看護

新規サービス

在宅治験等

主要財務数値 (2023年3月期)

連結



売上収益

352億円



売上収益
成長率

(0)%
YoY



EBITDA

50億円



EBITDA
マージン

14%



売上収益

244億円



売上収益
成長率

20%
YoY

既存サービス

1. 2023年4月30日時点、連結ベース。

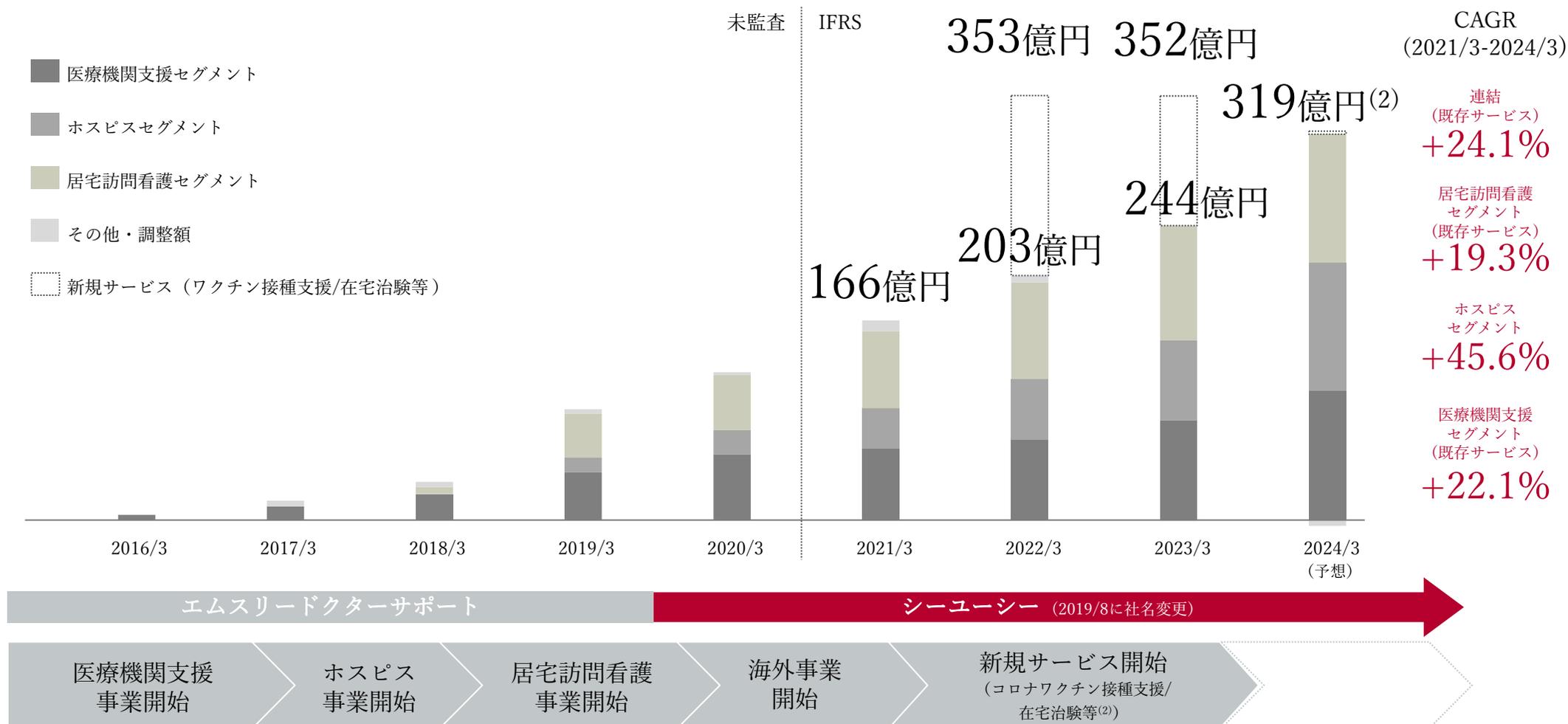
2. 2023年4月30日時点在籍の看護師及び介護士／セラピストの人数。セラピストは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総称。連結ベースの従業員数の内数。

3. 2023年7月19日時点、普通株式の所持者（自己株式控除後）。上場時の公募による発行株式数（6,400,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関連して行われた第三者割当増資に伴う発行株式数（960,000株）を反映。

高成長を実現してきたトラックレコード

事業領域の拡大と共に売上収益の継続的な高成長を達成

事業領域の拡大とセグメント別売上収益⁽¹⁾推移



注: 2021/3期から2023/3期の連結売上収益は国際会計基準 (IFRS) に基づく。2020/3期以前の数値は連結調整を行っておらず未監査。
 1. 2022/3期の353億円、2023/3期の352億円及び2024/3期の319億円は連結の数値。2022/3期の203億円及び2023/3期の244億円は連結 (既存サービス) の数値。
 2. 新規サービスによる売上収益が約2.6億円含まれている。

免責事項

本資料は、当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式及びその他有価証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる計画、見通し、戦略及びその他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断している一定の仮定や前提に基づいており、様々なリスク及び不確実性を内在しています。実際の業績等は、経営環境の変動等により、当該記述と異なる可能性があります。

本資料には、当社グループが事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計又はその他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。